

特別プログラム 一覧

The 9th Annual Meeting of Japanese Society for Surgical Wound Care

特別講演

■ 特別講演

「手術部位感染症 (SSI) の予防対策」

名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学分野 教授
八木 哲也

司 会：亀井 譲（名古屋大学 形成外科）

日 時：第1日目／平成29年7月6日（木） 11:00 ～ 12:00

会 場：第1会場（メインホール）

招待講演

■ 招待講演

「Tissue Engineering with Biomaterials. Soft, Elastic, Biodegradable Scaffold Design Guided by the Role of Mechanics in Tissue Remodeling」

Director of the McGowan Institute for Regenerative Medicine, Professor of Surgery, Bioengineering and Chemical Engineering, University of Pittsburgh
William R. Wagner

司 会：中塚 貴志（埼玉医科大学 形成外科）

日 時：第2日目／平成29年7月7日（金） 11:00 ～ 12:00

会 場：第1会場（メインホール）

討論会

■ 討論会

「再生医療の未来」

司 会：水野 博司（順天堂大学 形成外科）

討論者：磯貝 典孝（近畿大学 形成外科）

吉村浩太郎（自治医科大学 形成外科）

森本 尚樹（関西医科大学 形成外科）

田中 里佳（順天堂大学 形成外科）

日 時：第1日目／平成29年7月6日（木） 13:40 ～ 14:40

会 場：第1会場（メインホール）

日 時：第 1 日目／平成 29 年 7 月 6 日（木） 9:05 ～ 10:15

会 場：第 1 会場（メインホール）

司 会：細川 互（大阪大学 形成外科）

清川 兼輔（久留米大学 形成外科・顎顔面外科）

■演題一覧

SY1-1	当院における陰圧閉鎖療法 146 例の検討
	梅澤 和也（山梨県立中央病院 形成外科）
SY1-2	NPWT の限界とその対策
	黒川 正人（熊本赤十字病院 形成外科）
SY1-3	腱・骨露出創に対する NPWT の限界 ～Perifascial areolar tissue (PAT) 移植の手術適応アルゴリズムの提唱～
	宮永 亨（金沢医科大学 医学部 形成外科）
SY1-4	当院における過去 3 年間で局所陰圧閉鎖療法および限局的洗浄型 NPWT を用いた症例の検討
	長谷川泰子（神戸大学大学院医学研究科 形成外科学）
SY1-5	皮弁術後の創感染症例における、創閉鎖術に向けた着脱式間歇洗浄型陰圧閉鎖療法
	市川 佑一（静岡県立静岡がんセンター 再建・形成外科）

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 8:55 ～ 10:15

会 場：第1会場（メインホール）

司 会：大慈弥裕之（福岡大学医学部 形成外科学）

館 正弘（東北大学 形成外科）

■演題一覧

SY2-1	当科における人工物感染の治療方針
	梅川 浩平（獨協医科大学 形成外科学）
SY2-2	抜去困難な人工物の感染例の検討
	中村 優（名古屋大学医学部附属病院 形成外科）
SY2-3	感染創における取り除けない人工物・置換が必要な人工物へのわれわれのストラテジー
	榊原 俊介（兵庫県立がんセンター 形成外科）
SY2-4	人工血管感染を伴う縦隔洞炎に対する我々の治療戦略
	井野 康（久留米大学医療センター 足病変・皮膚潰瘍治療外来）
SY2-5	脳神経外科術後の難治性潰瘍・人工物感染に対する治療戦略
	前田 拓（北海道大学医学部 形成外科）
SY2-6	エキスパンダー感染制圧のストラテジー：K-systemの有効な使用法
	梶川 明義（聖マリアンナ医科大学 形成外科）

シンポジウム3 マイクロサージャリーを用いた頭頸部領域の再手術

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 13:20 ～ 14:30

会 場：第1会場（メインホール）

司 会：櫻井 裕之（東京女子医科大学 形成外科）

関堂 充（筑波大学 形成外科）

■演題一覧

SY3-1	頭蓋骨再建の再手術における free flap 移植の適応
	福田 憲翁（獨協医科大学 形成外科）
SY3-2	既頸部郭清例における頭頸部遊離皮弁再建の検討
	兵藤伊久夫（愛知県がんセンター中央病院 形成外科）
SY3-3	頭頸部の既手術部位を遊離皮弁で再建する際の吻合血管選択に関する考察
	橋川 和信（神戸大学 形成外科）
SY3-4	複数回の遊離皮弁再建における移植床血管の検討
	中川 雅裕（静岡県立静岡がんセンター 形成外科）
SY3-5	頭頸部再手術例における血管選択
	櫻庭 実（岩手医科大学 形成外科）

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 15:05 ～ 16:25

会 場：第1会場（メインホール）

司 会：鈴木 茂彦（京都大学 形成外科）

小川 令（日本医科大学 形成外科）

■演題一覧

SY4-1	ケロイド治療の進歩 — 基礎から臨床まで —
	赤石 諭史（日本医科大学付属武蔵小杉病院 形成外科）
SY4-2	当科におけるケロイド切除の適応とその時期について
	長尾 宗朝（岩手医科大学 形成外科）
SY4-3	超音波診断機器を用いたケロイド・瘢痕の評価
	山脇 聖子（福井赤十字病院 形成外科）
SY4-4	外科的治療・ステロイド局所投与・術後電子線照射療法を軸としたケロイド治療戦略の再検討
	清水 史明（大分大学 形成外科）
SY4-5	ケロイドの新治療の探求 — 既存の治療法や既存薬剤を活かして —
	林 利彦（北海道大学医学部 形成外科）
SY4-6	ケロイドの新規治療法開発を目指した組織学的解析
	岡部 圭介（慶應義塾大学医学部 形成外科）

共 催：キッセイ薬品工業株式会社

日 時：第1日目／平成29年7月6日(木) 9:47 ~ 10:57

会 場：第2会場(大会議室)

司 会：林 礼人(順天堂大学医学部附属浦安病院 形成外科)

■演題一覧

PD1-1	イカ軸索を用いた神経軸索機能再建の可能性に関する検討
	成島 三長(三重大学 形成外科)
PD1-2	伸展刺激を付加した末梢神経が創傷治癒に及ぼす影響
	藤原 敏宏(日生病院 形成再建外科)
PD1-3	ダイレクト・リプログラミングを用いたシュワン細胞移植による神経損傷治療
	素輪 善弘(京都府立医科大学 形成外科)
PD1-4	自家神経と神経再生誘導チューブの組み合わせによる神経修復
	高成 啓介(名古屋大学医学部 形成外科)
PD1-5	腫瘍切除後に神経再生誘導チューブ(ナーブリッジ®)を用いた神経再建の経験
	安倍 吉郎(徳島大学大学院医歯薬学研究部 形成外科学)

日 時：第1日目／平成29年7月6日(木) 13:40～15:10

会 場：第2会場(大会議室)

司 会：鳥山 和宏(名古屋市立大学 形成外科)

■演題一覧

PD2-1	Foot Attackを制御して救肢する
	藤井 美樹(北播磨総合医療センター 形成外科・重症虚血肢センター)
PD2-2	神戸分類type4における患肢温存の挑戦
	辻 依子(新須磨病院 形成外科・創傷治療センター)
PD2-3	慢性透析患者下肢潰瘍における患肢温存への挑戦
	村尾 尚規(北海道大学医学部 形成外科)
PD2-4	いわゆる EVT firstでの血行再建と患肢温存への取り組み ー EVTと遊離皮弁による下肢救済について ー
	山本 直人(新東京病院 形成外科)
PD2-5	患肢温存のための血行再建戦略 当院におけるバイパス手術の役割
	古川 雅英(大分岡病院 創傷ケアセンター 形成外科)
PD2-6	重症下肢虚血に対する血行再建と遊離皮弁移植
	石川 昌一(埼玉医科大学 形成外科)
PD2-7	増え続ける大切断～その適応について～
	佐藤 精一(大分岡病院 創傷ケアセンター 形成外科)

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 8:55 ～ 10:15

会 場：第2会場（大会議室）

司 会：貴志 和生（慶應義塾大学 形成外科）

■演題一覧

PD3-1	毛包原基の大量調製のための培養容器開発
	福田 淳二（横浜国立大学 工学研究院）
PD3-2	脱毛症における薬物治療
	佐藤 明男（東京メモリアルクリニック・平山）
PD3-3	楔状切開と術中尿道バルーンカテーテルを用いて組織拡張を行った頭部瘢痕性脱毛症の治療
	松尾 伸二（四国こどもとおとなの医療センター 形成外科）
PD3-4	脱毛症に対するBENEV治療と脂肪幹細胞治療
	鎌倉 達郎（聖心美容クリニック）
PD3-5	最新の植毛手術の実際
	長井 正寿（ルネッサンスクリニック福岡院）
PD3-6	ロボットを用いた毛根採取法
	蛸沢 克己（ルネッサンスクリニック）

第10回日本創傷外科学会教育セミナー2017

日 時：第1日目／平成29年7月6日(木) 15:20～17:00

会 場：第1会場（長良川国際会議場 メインホール）

司 会：松田 健（新潟大学医学部 形成外科教室）

1. 「顔面骨骨折の治療」

【講師】前川 二郎（横浜市立大学医学部 形成外科）

2. 「熱傷の局所治療」

【講師】木村 中（函館中央病院 形成外科）

司会：前川 二郎（横浜市立大学医学部 形成外科）

3. 「褥瘡の予防と治療」

【講師】林 礼人（順天堂大学医学部附属浦安病院 形成外科）

4. 「外傷・腫瘍切除後の下肢再建」

【講師】古川 洋志（北海道大学医学部 形成外科）

5. 「末梢神経損傷の治療」

【講師】松田 健（新潟大学医学部 形成外科教室）

2016年度 最優秀論文賞受賞講演

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 14:40 ～ 15:05

会 場：第1会場(長良川国際会議場 メインホール)

■原 著

「既存NPWTデバイスを利用した限局的洗浄型NPWT法」(Vol.7, No.3掲載)

【演者】榊原 俊介(兵庫県立がんセンター形成外科)

■症例報告

「メシル酸ガベキサート(FOY[®])の血管外漏出の1例と本邦報告72症例の文献的検討」(Vol.7, No.1掲載)

【演者】堀切 将(福島県立医科大学形成外科学講座)

ランチョンセミナー

■ランチョンセミナー1：「誰にでもできた顔面骨3Dモデルの作成」

日 時：第1日目／平成29年7月6日(木) 12:10～13:10

会 場：第1会場（メインホール）

司 会：井砂 司（東京女子医科大学東医療センター 形成外科 教授）

「3Dモデルのオーダーシステムとその現況」

【演者】中尾 崇（東京女子医科大学東医療センター 形成外科 助教）

「顔面骨骨折の治療における3Dモデルの実際Ⅰ」

【演者】吉武光太郎（埼玉医科大学病院 形成外科美容外科 助教）

「顔面骨骨折の治療における3Dモデルの実際Ⅱ」

【演者】峯田 一秀（徳島大学医学部 形成外科 助教）

共催：株式会社メディカルユーアンドエイ

■ランチョンセミナー2：「卓越した創傷管理」

日 時：第1日目／平成29年7月6日(木) 12:10～13:10

会 場：第2会場（大会議室）

司 会：清川 兼輔（久留米大学 形成外科・顎顔面外科 主任教授）

「創感染への多角的アプローチ」

【演者】松村 一（東京医科大学 形成外科 主任教授）

「NPWTで叶う！これからの創傷治療」

【演者】藤井 美樹（北播磨総合医療センター 形成外科 主任医長）

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社

■ランチョンセミナー3

日 時：第1日目／平成29年7月6日(木) 12:10～13:10

会 場：第3会場（国際会議室）

司 会：上田 晃一（大阪医科大学 形成外科 教授）

「創傷治療の戦略における、技術とマテリアルの熟成」

【演者】赤松 順（近森病院 形成外科 部長）

共催：アルケア株式会社

■ランチョンセミナー4：「Back to Basic (基礎から学ぶNPWT)」

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 12:10～13:10

会 場：第1会場(メインホール)

司 会：中西 秀樹(徳島大学名誉教授・田岡病院形成外科・創傷治癒センター長)

「Back to Basic (基礎から学ぶNPWT)」

【演者】安田 浩(産業医科大学 形成外科 准教授 診療科長)

【演者】橋本 一郎(徳島大学 形成外科 教授)

共催：ケーシーアイ株式会社

■ランチョンセミナー5：「ナーブリッジの基礎と臨床」

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 12:10～13:10

会 場：第2会場(大会議室)

司 会：中塚 貴志(埼玉医科大学 形成外科 教授)

「脂肪由来幹細胞とナーブリッジによる末梢神経の再生について」

【演者】多田 薫(金沢大学 整形外科 助教)

「ナーブリッジを用いた末梢神経再建の手術手技」

【演者】高見 昌司(関西電力病院 形成再建外科 形態機能再生センター長)

共催：東洋紡株式会社／アルフレッサファーマ株式会社

■ランチョンセミナー6

日 時：第2日目／平成29年7月7日(金) 12:10～13:10

会 場：第3会場(国際会議室)

司 会：川上 重彦(金沢医科大学 形成外科 名誉教授)

「Wound Care に対する救急医の取り組み

— 形成外科・皮膚科との連携も含めて —

【演者】平川 昭彦(藤田保健衛生大学 災害・外傷外科 教授)

共催：科研製薬株式会社

イブニングセミナー

日 時：第1日目／平成29年7月6日(木) 17:10～18:10

会 場：第1会場（長良川国際会議場 メインホール）

司 会：高成 啓介（名古屋大学 形成外科 講師）

「Developing Injectable Biomaterials for Applications in Cardiac Failure and Other Soft Tissue Settings」

【演者】William R. Wagner (Director of the McGowan Institute for Regenerative
Medicine, Professor of Surgery, Bioengineering and
Chemical Engineering, University of Pittsburgh)

共催：株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(J-TEC)